



▼壮行会(5月13日)

生徒会が企画した壮行会が、体育館で行われました。高体連支部予選に出場するバドミントン部と陸上同好会の選手たちがユニホーム姿で登場し、主体的な応援を通して生徒同士の親睦や愛校心を深めました。

選手代表が決意を表明し、清水美田紀校長から激励の言葉の後、体育委員や生徒会執行部など有志による応援団が、団長の音頭でエールを送り全校生徒も手拍子で激励しました。



▼高体連(5月下旬)

今年度も各支部大会は無観客で開催されました。本校から初めて陸上同好会が参加しました。結果は次の通りです。

- 陸上同好会(18・19日、室蘭市入江運動公園陸上競技場)
- ・兼本洗埜(円盤投げ、砲丸投げ)
- ・中島愛梨(円盤投げ、ハンマー)

投げ、砲丸投げ)ともに全道大会進出

●バドミントン部(24~26日、苫小牧市総合体育館)

・シングルス・ダブルスともに初戦敗退

▼1年生の花壇整備(5月19日)

毎年恒例の1年生による玄関前の花壇整備を行いました。厚真町地域学校協働本部「あつまるねつと」に、事前に花壇の耕起をお願いしました。フカフカになった花壇に色とりどりの花で「EIGHT」の文字を刻みました。

▼1年生が田植えを体験(5月24日)

厚真高校教育振興会の協力により、地域に根ざした特色ある取り組みの一環として、厚真町観光協会主催の「田んぼのオーナー」に参加しました。米づくり体験を通して、土や作物に触れながらクラスとの交流を深め、教室内ではできない体験や知識を深めます。実習先の幌内地区へは、あつまバスで移動。田んぼでの不慣れた作業で足を取られながら悪戦苦闘しましたが、充実した貴重な体験ができました。今から秋の稲刈りが楽しみです。



できる!は楽しい!!

こんにちは、よりみち学舎です。6月に入り、日々暖かくなってきていますが、厚高では今年度最初のテスト、1年生にとっては高校生活最初の定期テストがありました。

「勉強を頑張りたい」、または「赤点だけはまめがりたい」という気持ちから、よりみち学舎に来ていた厚高生は、テストの1週間前ほどから勉強モードに切り替わりました。好きな教科の勉強を1人で黙々と進める生徒もいれば、友だちと一緒に苦手な教科を勉強する生徒もいました。

今回、私が生徒たちと一緒に勉強している中で気づいたことは、「できると楽しくなる」ということです。一緒に勉強する中で、最初は苦手な教科に取り組むことに難色を示していた生徒ですが、少しずつ独力で問題が解けるようになると表情に明るさが増し、「分かるようになると楽しい」と変化が表れました。また、別な生徒からは、「勉強が楽しいと思ったのは小学校以来」との声も聞かれました。「できると楽しくなる」ことは当たり前のことかもしれませんが、その姿に接すると、改めてよりみち学舎の意義を感じます。

これは勉強だけに当てはまることではありません。生徒たちの興味・関心事にも関わっていくことだと思えます。これまで触れてこなかったこと、またはうまくできなかったことで、興味・関心をもてなかったことがあったはずです。

よりみち学舎は、生徒そして町民の皆さんと一緒に「できるは楽しい」ことを掘り起こしていきたいと考えています。

教育魅力化支援員 山中 卓也



よりみち通信



「よりみち学舎」は、厚真高校と地域が連携しながら放課後を利用して生徒が自ら目標を発見し、挑戦する公営塾です。